

## 天寿を全うするための科学技術

2017年10月24日、うれしいお知らせがありました。生涯学習財団との協働・連携講座を運営している「かわさき市民アカデミー」理事長の藤嶋昭さんが文化勲章を受章されました。心よりお祝い申し上げます。

藤嶋先生は、抗菌や汚れ防止など等に使われる「光触媒」の作用を発見した功績が評価されて、今回の受賞となりました。藤嶋先生は、毎年ノーベル化学賞の候補者にノミネートされるほど世界的に有名な研究者です。こんな風を書くとは、堅い、近寄りたがいの「研究者」と思われがちですが、本当は気さくで、町であっても笑顔で声を掛けてくれる素敵な方です。

私は、生涯学習財団に参りました時に「かわさき市民アカデミー講座ブックレット」から、何冊か本を購入させていただきました。その中で最初に読ませていただいたのが藤嶋先生の「天寿を全うするための科学技術」(ブックレットNO. 25)です。本の題名が藤嶋先生らしい。藤嶋先生の発言は、夜の酒席でも一貫しています。『科学技術は人の役に立たなければいけないんだ。日本は、科学技術で立国する国なんだよ。だから、若い人に理科や科学を学んでほしいんだ。』と力強く語られます。天寿を全うするためには、健康を維持すること。それには食料があり、きれいな空気や水があり、エネルギーがあり、快適な生活空間が必要となります。光触媒は、長寿を支える科学技術なのです。

私は、文系の人間なので、光触媒の難しい内容は、本を読んだ今でも分かっていません。ただ、先生の著書の中の「心に残る名言」とか「コラム」を読むと先生の人柄が分かり、とても身近な存在に思えるのです。

例えば、「心に残る名言 ③」には、こんな言葉が掲載されています。

「人を相手にせず、天を相手にせよ。天を相手にして、己を尽くし、人を咎めず、我が誠の足らざるを尋ねるべし。(南洲翁遺訓)」

また、「コラム⑩ 物華天宝」では、次のように書かれています。

「(前略) 物とは科学技術のこと、科学技術の成果は、天にある宝だということ。天にある宝を私たちは科学技術を使って探し出すのだというのが私の解釈です。人類の役に立つように研究することが大事であると常々思っている。(後略)」

私は、光触媒の研究の中身より、つい、先生がどのような生き方をしてきたのか、どのようなところを目指しているのかということに興味がいってしまいます。私の持っている「天寿を全うするための科学技術」の本の裏表紙には、直筆で「物華天宝」藤嶋昭と書かれています。これからも、お元気で、人類の役に立つ研究を進めてください。私も、人に役立つように生きていきたいと思えます。(M. Y)